

①がくしゅうかだい（1ねんせい）



【こくご】おうちのひととけいかくをたててがくしゅうをしていきましょう。

＜べんきょうすること＞

◆「はなの みち」（きょうかしよ 32～39 ページ）をがくしゅうします。
きょうかしよのえをみながら、かんがえてみましょう。

(1) 32～33 ページをこえにだして、よんでみましょう。

ここは、だれのおうちでしょう。

- ・あおい すと一ぶが あります。
- ・らんぷが たなの うえに あります。
- ・ことりが みています。

(A) りす (B) くま (C) うさぎ



らんぷ



あと

(2) 34～35 ページをこえにだして、よんでみましょう。

① くまさんが あるいた あとを ゆびで なぞって みましょう。

② くまさんは、りすさんに なんと きいたのでしょうか。

「りすさん、ちょっとみて！」

③ かんがえたことを おうちのひとに はなしてみましょう。

(3) 36～37 ページをこえにだして、よんでみましょう。

① どうして、くまさんは、「しまった。」と、いったのでしょうか。

ふくろに、が あいていたからです。

※こたえをとりくみしーとやのーとにかきましょう。

(4) 38～39 ページをこえにだして、よんでみましょう。

① ながい ながい、はなの いっぽんみちを ゆびで なぞって みましょう。

② どうして、はなの いっぽんみちが できたとおもいますか。

※34～35 ページのえと くらべてみましょう。

③ かんがえたことを おうちのひとに はなしてみましょう。

(5) とりくみシートや、ノートのみす（しかく）から、はみださないようにして、「くま」「りす」「ことり」をれんしゅうしてみましょう。

※129～130 ページにのっているひらがなひょうをみて、かきじゅんどおりにかいてみましょう。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

◆「はなの みち」では、お話の中の場面の様子や、登場する動物たちの行動などを考えながら、学習します。

・教科書の P32 に、QR コードが掲載されています。音読の仕方や挿絵を確認する際に御活用ください。

【さんすう】

「※」はべんきょうするときの せんせいからの アドバイスです。

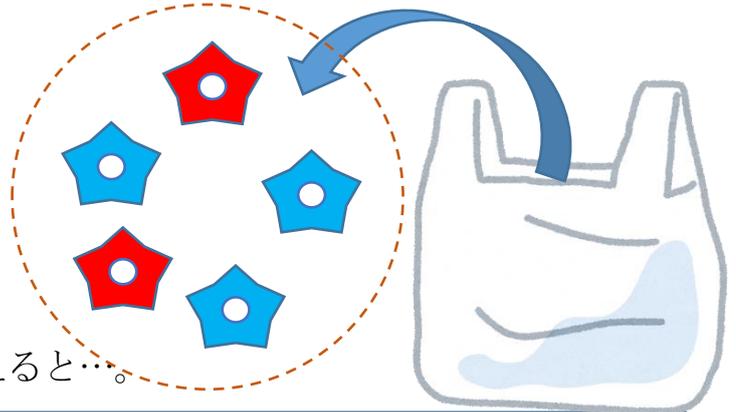
<べんきょうすること>

◆「いくつといくつ」（きょうかしよ 31～34 ページ）

ふくろの なかから、おはじきを 5こ とりましょう。
あか が いくつで あお が いくつかな？

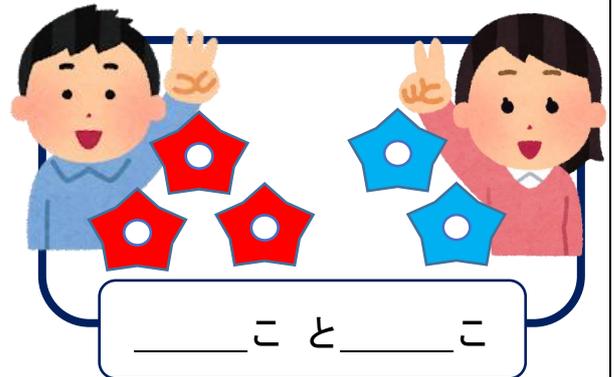
(1) あかが こ

あおが こ



※いろごとに かずを かぞえると…。

ゆびで あらわしている かずは？



(2) **5** は、**1** と に わけられます。

と **3** にも わけられます。

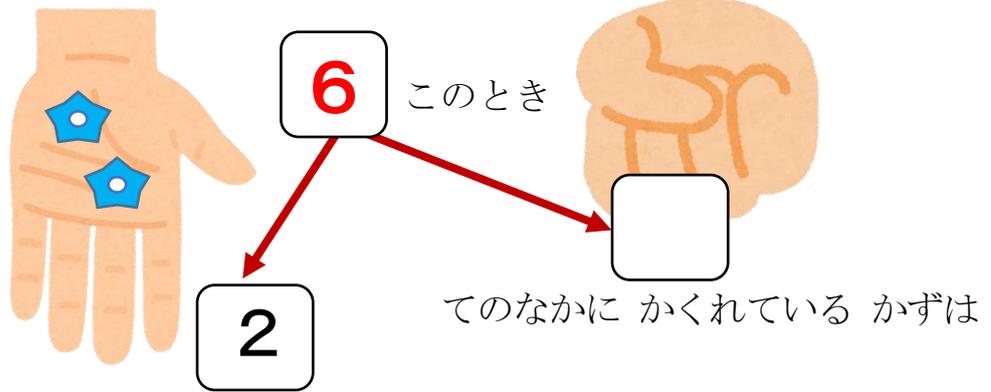
※ほかの わけかたも あるかな？ノートか とりくみシートに かいてみよう。

5は、2つのかずに わけることができたね。
ほかのかずでも できるかなのかな。

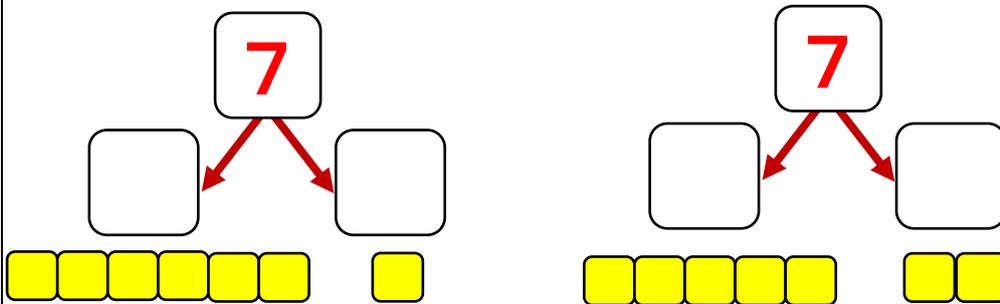
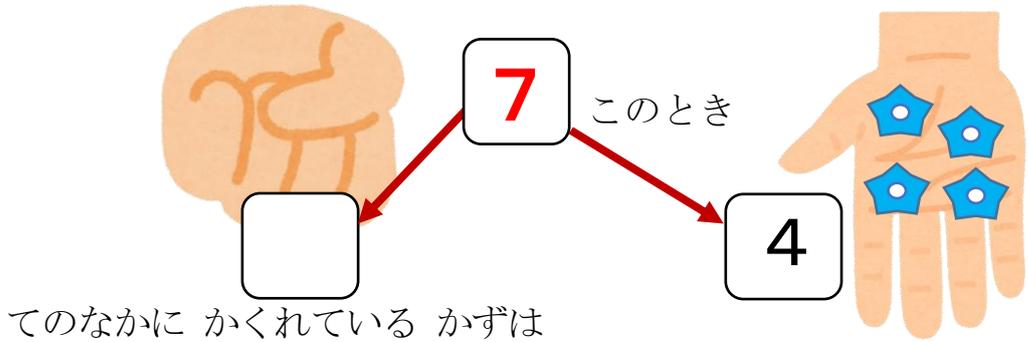


6や7も 2つのかずに わけることが できるかな？

かくした おはじきは いくつかな？



もし さいしょに 7こ もっていたら…？



※ほかの わけかたもあるかな？ みつけたら ノートに かこう。

<この べんきょうで、わかったことや、きづいたこと、
おもしろかったところを、おうちのひとに おはなししてみよう。>

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

◆いくつといくつ（教科書 P31～34）

- ・この学習は、色ごとに分けて数を考えたり、片方のおはじきの数から、もう片方を予測したりする活動を通して、数を合成したり、分解したりする見方を学びます。
- ・1年生では、数をブロックやおはじきに置き換えて考えることがとても大切になります。子どもがすぐに答えを出せても、ブロックやおはじきなどでもう一度表現したりするなど、操作を通して数感覚を育むことが大切です。

【おんがく】^{ぼそこん}パソコンなどで、みたりきいたりできるひとは、とりくんでみましょう。

＜べんきょうすること＞

◆「**たん** **たん** | **たん** うん」のリズムをうって、たのしく『じゃんけんぽん』（きょうかしよ 14～15 ページ）をうたいましょう。

(1) 『じゃんけんぽん』をききましょう。いっしょにうたえるようになるまで、くりかえしききましょう。



(2) うたいながら、「ぐう ぐう ぐう」「ちよき ちよき ちよき」「ぱあ ぱあ ぱあ」「ぐう ちよき ぱあ」のところにきたら、「**たん** **たん** | **たん** うん」のリズムにあわせててをうちましょう。（どうがといっしょにやってみましょう。）



(3) 「**たん** **たん** | **たん** うん」のてびょうしをつけて、さいしょからさいごまでとおしてうたいましょう。さいごの「じゃんけんぽん」のあとに、おうちの人とじゃんけんをしてみましょう。（どうがでやりかたをたしかめましょう。）



◆『おちゃらかほい』（きょうかしよ 64～65 ページ）をきいたりうたったりして、てあそびをたのしみましょう。

(1) 『おちゃらかほい』をきいてみましょう。



(2) 『おちゃらかほい』のあそびかたを、きょうかしよのえや、どうがでみて、たしかめましょう。

(3) あそびかたがわかったら、どうがにあわせて、おうちのひとといっしょにやってみましょう。なれてきたら、いろいろなはやさであそびましょう。



＜保護者による関わり方のポイント＞ ※可能な範囲でお願いします。

・音源のQRコードは＜学習課題 6月1日～5日＞のページにも掲載しています。曲名を選択して、聞いてください。

https://cms.exn.city.sapporo.jp/cms8341/kyoiku/shido/syougakkou_6_1_5.html

・『じゃんけんぽん』では、「**たん** **たん** | **たん** うん」の手拍子を、拍に合わせて上手にできていたらほめてあげてください。「うん（休符）」のところでは、手を開く・握るなどして、しっかり休むことを意識できるように声をかけてあげてください。

・かぞえうたや手遊びうたは、楽しく遊びながら日本の音階に親しむことのできるものです。『おちゃらかほい』は、ぜひお子様と一緒にあそんでみてください。初めはゆっくりと、確実にできるようになってきたら少しずつ速くして、お子さんと一緒に楽しみながら取り組んでみてください。

【たいいく】

けがをしないよう、まわりをよくたしかめてとりくみましょう。どうぐをつかうときは、かたいものやわれるものはつかわず、あんぜんにおこないましょう。

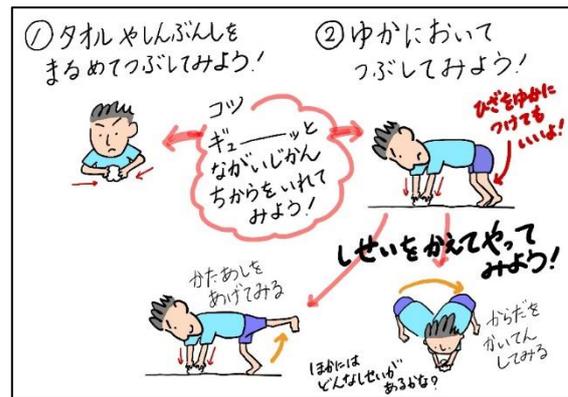
＜べんきょうすること＞

◆「ちからをいれるうんどう」にとりくみましょう。

(1) ①「タオルやしんぶんしをまるめてつぶすうんどう」と、②「ゆかに
おいてつぶすうんどう」にチャレンジしてみましょう。

(2) しせいをかえてチャレンジ
してみましょう。

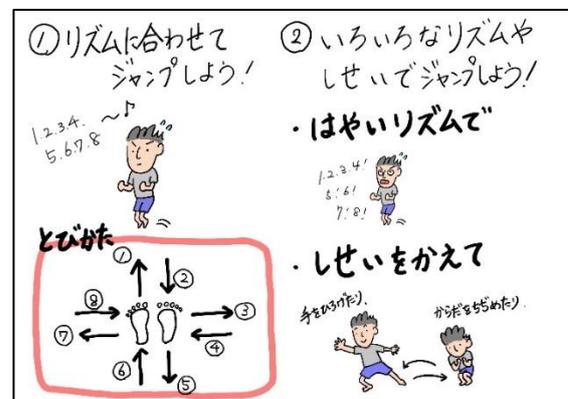
(3) ほかのしせいもかんがえて、
チャレンジしてみましょう。



◆「リズムにあわせるうんどう」にとりくみましょう。

(1) ①「リズムにあわせるジャンプ」
にチャレンジしてみましょう。

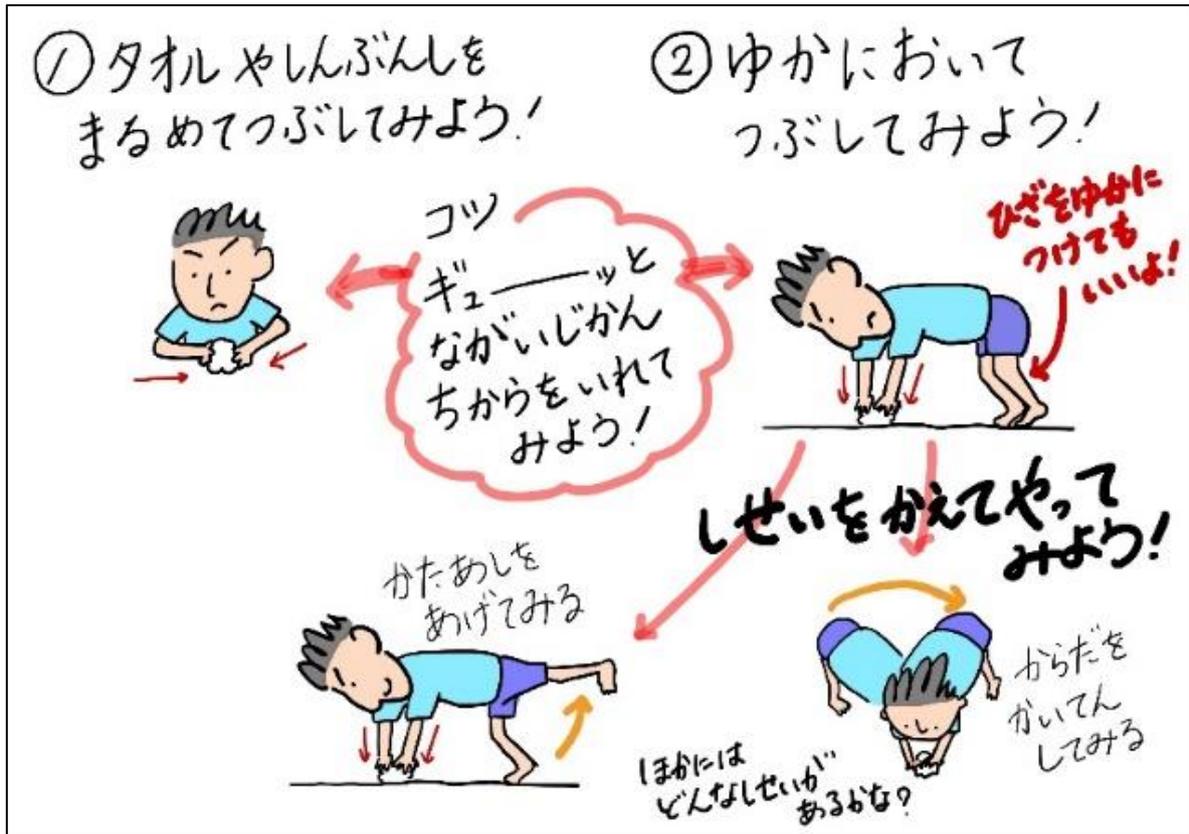
(2) ②「いろいろなリズムやしせいでジャンプ」にチャレンジして
みましょう。



＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・体づくり運動は、運動の楽しさを味わいながら、体の基本的な動きを身に付けていくことを目指しています。また、自分に合った運動の行い方を工夫できるようにすることも大切にしています。
- ・失敗しても何度もチャレンジしたり、時間や距離を変えるなどの仕方をしたりする姿を、ぜひほめていただきたいと思います。

◆「ちからをいれるうんどう」



◆「リズムにあわせるうんどう」

